



平成10年(1998)3月号 No.715

- 今月のこよみ
●春の全国火災予防運動 1日~7日
●全国山火事予防運動 1日~7日
●耳の日 3日
●消防記念日 7日

発行 和歌山県知事公室 広報広聴課

県民の友



南紀熊野体験博

JAPAN EXPO
リゾートピアわかやま'99

開催期間 平成11年4月29日~9月19日

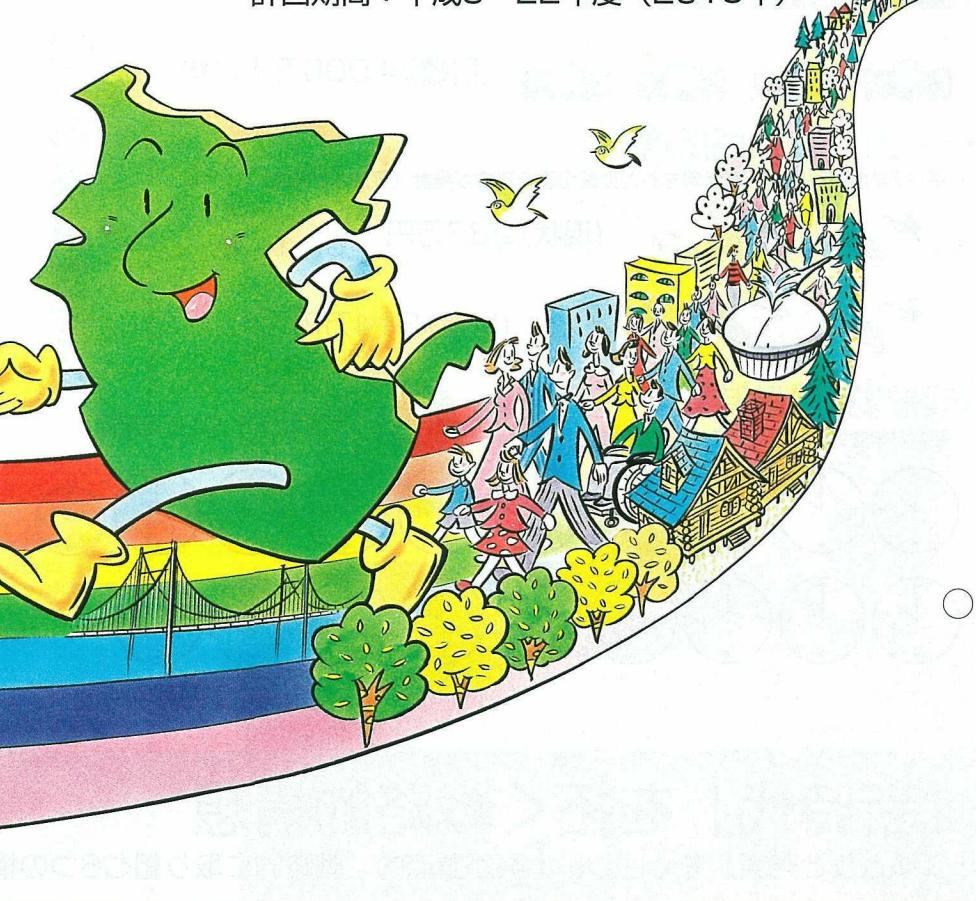
Tel 640-8585 和歌山市小松原通1-1 Fax (0734) 32-4111

ゆとりと充実 輝く和歌山新時代

21世紀は交通や情報通信のネットワークにより、人・物・情報の交流が更に活発になると見込まれます。今回の計画の策定に当たっては、グローバルな視点で行動するとともに、生まれ育った地域に愛着を持ち、様々な地域活動に参画する「地球時代の故郷づくり」を基本的な姿勢とし、活力と生活の豊かさが両立した「ゆとりと充実」の和歌山県の実現に取り組みます。

目標に向けた施策の基本方向の設定

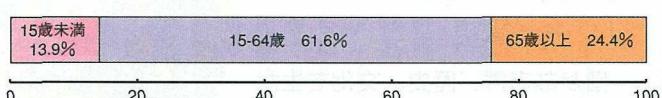
- 心豊かで個性輝くひとづくり
- 豊かさを実感できる暮らしづくり
- 創造力あふれる産業づくり
- 新時代を支える基盤づくり



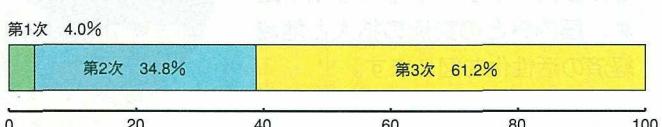
県民生活の姿

平成22年度の人口や経済の見通しと施策の4分野の主要項目の数値目標を表しました

人口
109万7千人

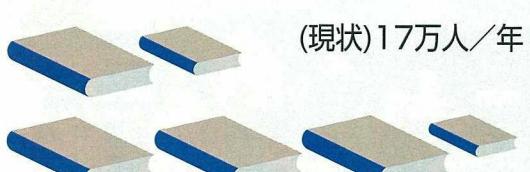


経済 (県内総生産)
約4兆円
(平成2年価格)



ひとづくり

生涯学習受講者数 ※平成8年度社会教育調査



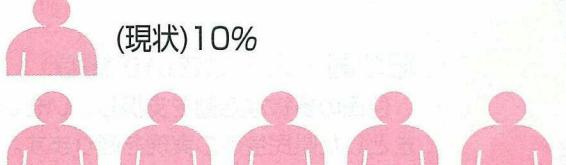
(目標) 36万人/年

海外渡航者数 ※平成8年出入国管理統計



ボランティア活動への参加割合

※県企画総務課調べ



暮らしづくり

一人当たりゴミ排出量 ※平成9年版環境白書



ホームヘルパー数 ※平成8年度県長寿社会推進課調べ



延長保育実施保育所数 ※平成8年度県児童家庭課調べ



救急救命士数 ※平成8年度県消防防災課調べ



主な記事

2面 県長期総合計画概要
3面 拝啓県民のみなさまへ/
県人権教育啓発推進懇話会／メキシコからの手
紙／情報化新時代⑤

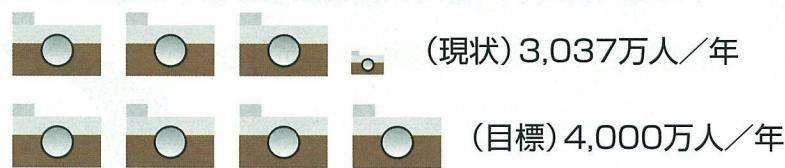
4面 わかやま女性100人委員会最終提言
5面 よみかき交流会／南紀熊野体験博二
ユース／同和連載
6~7面 お知らせ／県職員の給与等の現状

8面 わかやま北南NEWS／
アジアこどもフェスティバル in 和歌山／
わかやま魅力再発見⑯

産業づくり

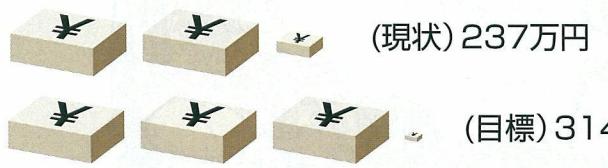
観光客数

※平成8年観光客動態調査報告書



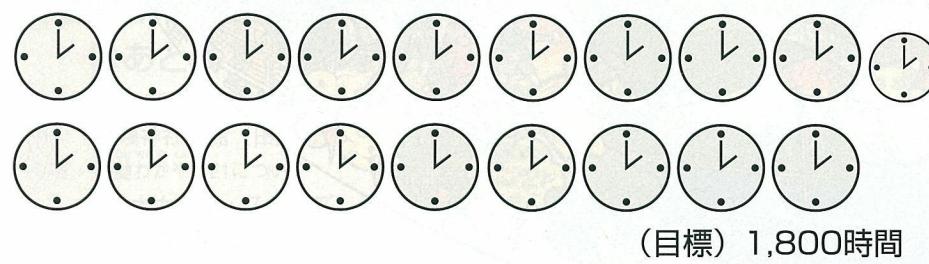
一人当たり県民所得

※平成7年度県民経済計算年報をもとに県企画総務課が推計(平成2年価格)



年間総実労働時間

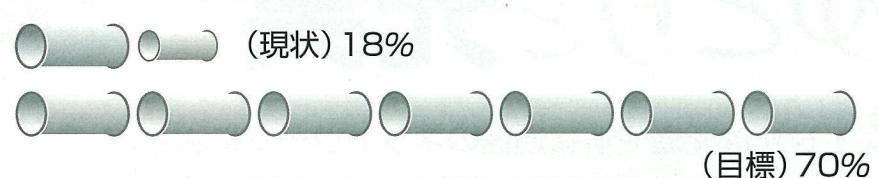
※平成8年度労働省「毎月勤労統計調査」



基盤づくり

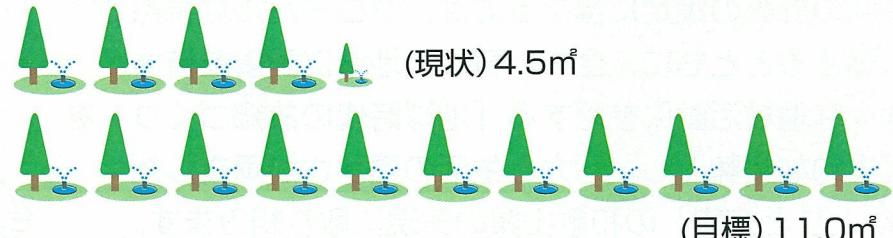
下水道等の整備

※平成8年度末 建設・厚生・農林水産3省調査



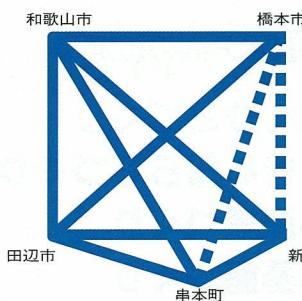
一人当たり都市公園面積

※平成7年度県都市計画課調べ



県内2時間行動圏達成率

※県総合交通政策課調べ



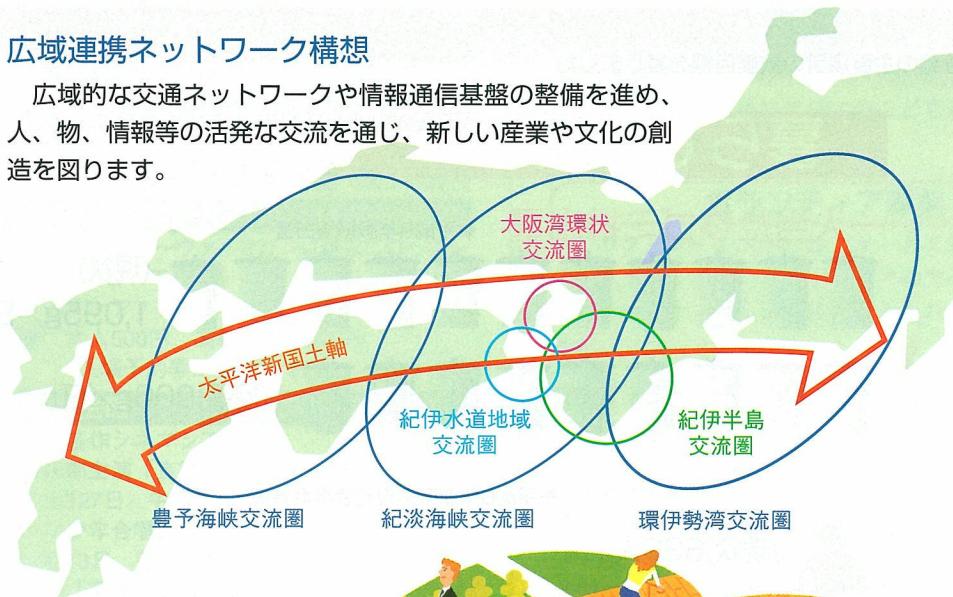
(現状) 80%
(目標) 100%

「新時代」を拓く戦略的構想

「ゆとりと充実」をめざし、本県が重点的、戦略的に取り組む6つの構想を掲げます

広域連携ネットワーク構想

広域的な交通ネットワークや情報通信基盤の整備を進め、人、物、情報等の活発な交流を通じ、新しい産業や文化の創造を図ります。



共に生きる安心のまちづくり

人権が尊重され障壁のない動きやすいまちづくりや病気や介護が必要になった場合、適切なサービスが受けられる社会づくりを進めます。



新産業の創出・育成

和歌山の資源と創意を生かした「ゆとりと充実」をもたらす新産業の創出・育成を図ります。

和歌山県長期総合計画の内容等くわしくは、県庁企画総務課 ☎(0734) 41-2333へお問い合わせください。

紀の国ふれあいリゾート構想

豊かな自然、歴史、文化を生かした観光・リゾート地の形成を進め、国内外との交流の拡大と地域経済の活性化を図ります。



快適環境のまちづくり

身近な自然や生活環境の整備とともに、景観に調和したまちづくりを進めます。



ボランティア



紀の国・人・いきいき構想

住民の多様な活動を支援し、いきいきとした県民生活の実現を図ります。

沈丁花の甘い香りが、春の訪れを教えてくれます。先月は長野五輪の中継放送に県民の皆さんもくぎ付けになられたことでしょう。各選手の鍛え上げられた技と力のぶつかりあいの中から様々なドラマが生まれました。そして、和歌山県民として、誇らしく思つたのはボブスレーに出場した郷土出身の三選手の勇姿でした。雪がめずらしい温



シナロア州知事と
(写真上)
メキシコ和歌山県
人会の方々と
(写真下)



がきました。太平洋をはるか隔てた遠方の地にあって、移住された県人の方々やそのご家族のたくましい姿、言葉に触れて心の近さを感じるとともに、母國日本そして和歌山の状況をよく知つておられる感じで、情報化の進展、地球時代の到来を感じずにはいられませんでした。

今月号の特集で、新しい長期総合計画を紹介しておりますが、「地球時代の故郷づくり」といった視点で「ゆとりと充実」の県づくりを目指しました。今回が第五次の

長期総合計画ですが、各分野に数値目標を設定し、戦略的構想を掲げたのが特徴です。

県民の皆さんとともに、新しい和歌山の時代を切り拓いてまいりたいと思います。

写真は、先月、メキシコを訪問したときのもので、平成八年に友好提携したシナロア州へ答礼し、メキシコ移住100周年を記念する県人会祝賀会などに出席すること

和歌山県知事 西口勇

現在の会員は50家族、約170人で生まれて12年です。県人会の活動としては、年初めの総会、バレ

ーボール大会、新年会と春か秋にはバス何台かを連ねて野遊会を行ない、山一つ遊園地にしているところや大きないくつの温泉ブルのあるところで、幕の内弁当を開いたり、男性軍が腕を振るつて焼き肉タコスをしてくれたりと、おじいちゃん、おばあちゃんから孫たちまでいつしょになって楽しみ、帰りのバスはミッドナイトタンゴかハーレムノクターンです。

その他には日墨協会が主催する歌謡大会や敬老会に出演者を送り、お祭り等には串本節の民謡を踊ったり、屋台(出店)では「ワカタコ」(メキシコの代表的な食べ物タコス)を売り出したり、お客様以上に準備や売り子の自分た

ちが楽しんだりしてます。ふると和歌山との交流は昨年初めて、ホームステイの青年団が改めて、100年の重みというか、開催しました。

改めて、100年の重みというか、



メキシコ和歌山県人会(メキシコ)



メキシコからの手紙
海外県人会からお寄せいただきました
移住100周年を迎えて



メキシコ和歌山県人会(メキシコ)



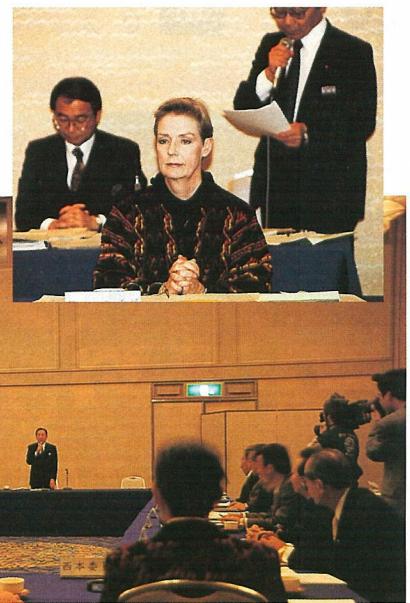
人権の世紀に向かって 一県人権教育啓発推進懇話会開催

「人権の世紀」といわれる21世紀に向かって、和歌山県における人権教育啓発の推進に関する基本的な方向や施策のあり方について、幅広い意見をいただくため、県人権教育啓発推進懇話会を設置しました。

この懇話会は、人権問題に精通する有識者や人権問題に取り組んでいる団体など各界からの委員26人で構成され、懇話会での意見を本県の行動計画に反映させていきます。



第1回県人権教育啓発推進懇話会の様子



連載コラム⑤ 情報化新時代



マルチメディアのある故郷づくりを

21世紀は、本格的な「情報化」社会が到来するといわれています。このコーナーでは、毎月専門の方々からのご意見・ご提言をご紹介します。

県民の皆さん一人ひとりが、時代の変化を読みとること参考にしていただければ幸いです。

連載コラム⑤ 情報化新時代

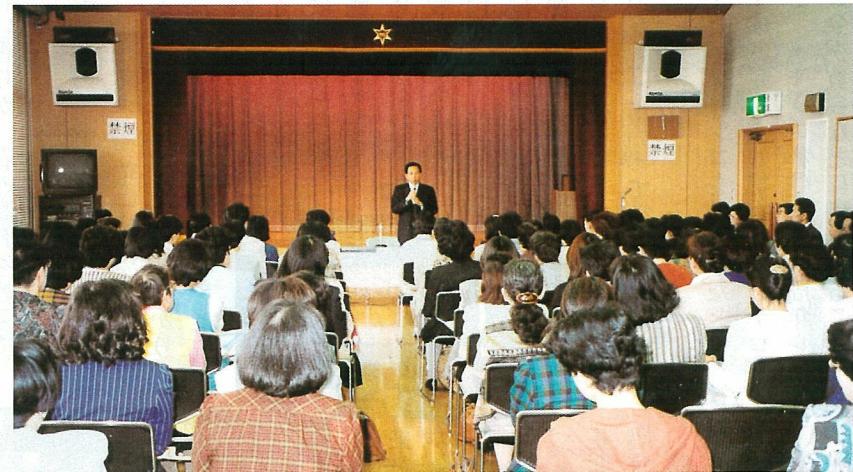
マルチメディアと言えば大企業の通信システムを連想されがちでしたが、これからマルチメディアは、お年寄りや奥様方が気軽に使いなってこそ、その価値があります。

例えば、バスの時刻・商店街の売出し・料理の献立などの情報をインター.NETで簡単に取り出す、テレビ電話にて、「マルチメディアのある故郷・和歌山」を実現したいものです。

和歌山県長期総合計画審議会
県士基盤専門委員会委員 山崎 邦彦

わかやま女性100人委員会 提言まとまる

「わかやま女性100人委員会」は、女性の意見を県政に反映させようという趣旨から、平成8年4月に発足しました。県民から委員を公募するという和歌山県でも初めての試みであり、100人の委員がそれぞれの立場から意見を出し合い、真剣な論議を重ねた中から、今回、4つの専門部会ごとに提言がまとめられました。



全体会

《各専門部会の主な提言》

現地研修（熊野古道）



現地研修（県衛生公害研究センター）



専門部会

男女共生社会づくり 啓発標語 決定

県では「男女共生社会づくり」に向けて啓発標語の募集を行いました。その結果、県下各地より197作の応募があり、審査の結果、次の作品が入賞しました。

最優秀賞 信頼の心で築く男女共生

金田章さん（和歌山市）

優秀賞 男もやれる家事・育児

女もやりたい管理職

塩濱由美子さん（川辺町）

優秀賞 家庭から社会につなぐ 男女の平等

下草達雄さん（和歌山市）

佳作 共生の社会を築けあなたから

大西倫江さん（打田町）

佳作 男のくせに 女のくせに…

何を基準に決めますか？

有本美里さん（和歌山市）

佳作 家の事 みんなで分担ぼくの家

高垣晴夫さん（和歌山市）

佳作 会社から 社会へもどろうよ お父さん

渡辺由美子さん（和歌山市）

佳作 男女共生 互いの理解と自立から

福田敬子さん（田辺市）

佳作 生かし合う男女でつくる明るい社会

清水佐代子さん（和歌山市）

佳作 「男」って何だろう 「女」って何だろう

みんな「人」だよね

大谷世都子さん（新宮市）



提言内容等くわしくは、
県庁女性政策課
（0734-41-2510）
へお問い合わせください

課題の解決に向けて 平成9年度よみかき交流会 開催 識字問題と識字教育の

わが国には、部落差別や社会的理由などにより学習の機会が保障されなかつた人々や在日外国人等、識字教育を必要としている人々がいます。

「2000年までにすべての人々に文字を」というスローガンのもとに、本県においても、識字問題の啓発や識字教育の推進などに取り組んでいます。

去る1月24～25日には、「よみかき交流会」を那智勝浦町で開催し、県内各地からたくさんの識字学習者や指導者の方々が参加され、学習意欲を高めるとともに、お互いの交流を深めました。

この交流会では、識字指導者の方にこれまでの識字学習に対する取り組みの成果や貴重な体験を話していただきました。

識字学習者の方の体験発表では、識字教室での学習により、自分の気持ちを文字で伝えられたことの喜びを話され、自分で作詞した歌を熱唱されたときには、会場の皆さんが高い感銘を受け、次々に拍手が沸き起こりました。

「識字の楽しさ」と題した分散会では、識字学習者同士が本音で意見交換を行いました。

その他、会場では、識字学習者の作品展示も行われ、参加の方々が熱心に見入っていました。文字の読み書きができるところにとどまらず、人間らしく生きていけるためのすべての能力のことです。読み書きができる人々だけの問題ではありません。私たちも、識字問題をすべての人々が幸せな生活を送るために問題と捉え、読み書きができる人々をなくすことを自らの問題として、識字学級・教室等へ参加する人を支援したり、読み書きが不自由な人の学習する機会を保障するなど、人権を守る取り組みを進めることができます。



那智勝浦町で行われたよみかき交流会にて

めることの大切です。

ご存じですか? 公有地の拡大の推進に関する法律 (公拡法)による先買い制度

○届出制度 次のような土地を売買するときに、知事(中核市長)に届け出ること。
①都市計画施設(都市計画決定された道路、河川、公園、学校、上下水道等)予定区域内にある200m²以上の土地
②都市計画区域内の道路、都市公園、河川などの予定区域内にある200m²以上の土地
③一定規模以上の土地 ※市街化区域 2,000m²、その他の都市計画区域 5,000m²
○申出制度 都市計画区域の200m²以上の土地を県や市町村等に買ってもらいたいときに、そのことを知事(中核市長)に申し出ること。

届出・申出していただいた土地については、公共施設等の建設に必要なものと判断されると、県や市町村等が所有者の方と協議させていただき、合意に達すれば、その土地を買い取らせてもらう制度です。その際は、税制上の1,500万円の特別控除が適用されます。

くわしくは県庁用地対策室(和歌山市所在地)と、和歌山市役所管財課)へ

南紀熊野体験博ニュース

南紀熊野体験博1年前プレイベント 出演者・入場者大募集

「ここにリゾート実感」をテーマに南紀熊野地域で開催する南紀熊野体験博も、開幕まであと1年余りになりました。ちょうど1年前に当たる4月29日(みどりの日)に和歌山マリーナシティで、県民の皆さんに多数ご参加いただき、「南紀熊野体験博1年前プレイベント」を盛大に開催し、気運を大いに盛り上げています。

イベントの中心は、関西を中心に活躍する新進のミクル劇団による南紀熊野を舞台にしたオリジナルのミュージカルを予定しており、出演していただく小学生と、観覧をご希望の方を募集します。(募集要項は下記のとおりです。)

帰り道に「すごく楽しかったね。」と会話が生まれ、そして、「南紀熊野体験博に絶対行こうね。」と言っていただけのミュージカルをめざしています。

皆さんお誘い合わせのうえ、奮ってご応募ください。

出演者(小学生)募集

募集人数 100人(抽選)

公演日 平成10年4月29日(水・祝)

会場 マリーナシティホール「WAVE」(和歌山マリーナシティ)

応募資格 県内在住の小学生で、次の練習日のうち2回以上参加できる方。また、公演当日は、午前10時から午後5時頃まで時間の都合のつく方。



入場者募集(入場無料)

募集人数 1,000人(抽選)

公演日 平成10年4月29日(水・祝)午後3～5時

会場 マリーナシティホール「WAVE」(和歌山マリーナシティ)

応募方法 往復ハガキに、住所・氏名・年齢・学年・保護者氏名・学校名・電話番号・自己PR(趣味や好きなスポーツ、今興味をもって取り組んでいることなど)を記入し、3月20日(必着)までに〒640-8585 県庁南紀熊野体験博実行委員会へ郵送。

結果発表 応募結果は、応募者全員に通知します。

くわしくは応募先へお問い合わせください。



この連載は、県同和委員会が毎年募集する同和運動啓発作文の入選作品を掲載しています。
子供たちがそれぞれの生活の中で素直に見つめた
「人権」へのまなざし。
私たち大人への呼びかけです。

(平成8年度入選作品)

上富田町 市ノ瀬小学校4年 井川 晓

ぼくは、ほいく園に入園する前、「さ」が「は」になり、「し」が「ひ」になつたり、「す」が「ふ」になつたり、「せ」が「べ」になつたり、「そ」が「ぼ」になつたりしました。
そして、この「さしすせそ」が言えないのでみんな、「は」になつてしましました。「さとる、『サワイ行ってくる』、て言つて言つてみました。ぼくは、「さ」が言えないので、「は」になつてしまいました。「さとる、『サワイ行ってくる』、て言つて言つてみました。ぼくは、「さしすせそ」を言えないので、「は」になつてしましました。
「ハワイ行ってくる」になつてしましました。
「ははは、はよハワイ行ってこいや。」とわらわれたり、「さとる、おまえの名前は。」
「井川はどる。」
「井川はどる。」になつてしましました。
「え、はどるって名前なん、へんなの。」
と、ばかにされてしましました。
だから、ほいく園に入つても、ばかにされるといました。
「さとる、おまえの名前は。」
「井川はどる。」
いつも一人ぼっちでした。
それから数日たつて、初めて人と遊びました。その人は、けいけ君でした。でも、ぼくは、けいけ君の名前をなかなか覚えられませんでした。そして、ぼくがけいけ君に自分の名前を言つても、やつぱり「井川はどる」になつてしましました。でもけいけ君は笑いませんでした。この時、ぼくはすぐれしかつたです。そして、

いつも一人ぼっちでした。

だから、ほいく園に入つても、ばかにされるといました。
「さとる、おまえの名前は。」
「井川はどる。」
いつも一人ぼっちでした。

本読みができたり、自分の名前もちゃんと言えます。「さしすせそ」が言えるようになったのは、けいけ君や新君、山下君たちのおかげだと思います。この三人には、大きな声で、お礼が言いたいです。

同和運動啓発ポスター・資料展

平成9年度応募の最優秀作品1点、優秀作品約50点のポスター、各市町村同和委員会、県同和委員会が作成した冊子、パンフレット等の展示を行います。

期日 3月21日～4月9日

午前9時30分～午後5時

(火曜日休館)

場所 わかやま館(和歌山市)

くわしくは県庁内県同和委員会へお問い合わせください。



龍神村～中辺路町間がますますスムーズに

県道龍神中辺路線熊野川トンネルが3月27日いよいよ開通します。



県内各地で行われた北方領土返還要求街頭啓発にて

東京ドームでわかやまをPR ふるさとフェア'98

首都圏を中心に、全国へ向けて、和歌山県の物産や観光を紹介するイベントが行われ、和歌山の名産や特産品の展示・即売や南紀熊野体験博のPRを行いました。また、特設ステージでは、紀州龍神太鼓演奏が、PRステージでは今夏に行われるC.I.O.F.F.アジアこどもフェスティバルの紹介が行われました。



CANDO WAKAYAMA 感動わかやま21紀南の集い —はあとふる TANABE—

日時 3月15日(日)午後1時30分～
場所 鶴神社会館(田辺市)
内容・感動わかやま21について
・『ミナカテラ・ステップ』ビデオ上映
・南紀熊野体験博について
・語り＆ミニコンサート 岩本唱道氏
申込方法等くわしくは県民生活課内感動わかやま21県民会議☎(0734) 41-2053へ



あつまれ! アジアの元気。 第1回C.I.O.F.F. アジアこどもフェスティバル in和歌山

愛称決定!! WANPAC

今年の7月24～31日、アジア・オセアニア14カ国・地域のこども達が、一堂に集い、民族芸能や遊びを紹介する「第1回C.I.O.F.F.アジアこどもフェスティバルin和歌山」の愛称が「WANPAC」に決定しました。一般公募の中から選ばれた、埼玉県の吉村健二さんの作品です。

「Wakayama(和歌山)」、「Nations(世界の国々)」、「Peace(平和)」、「Asian(アジアの)」、「Children(こども達)」の5つのキーワードから、「和歌山で、世界の国々の平和のためにアジアのこども達が集う」ことを意味しています。

ボランティア募集!

このフェスティバルには、ホームステイをはじめ運営スタッフなど大勢のボランティアの方々のご協力を必要としています。多くの県民の皆さんのご支援をお願いします。

募集するボランティア

(満18歳未満の方は保護者の同意が必要です)

- (1)ホストファミリー
- (2)通訳ボランティア
- (3)会場運営ボランティア
- (4)各國・地域サポート隊
- (5)プレ・イベント推進ボランティア
- (6)専門分野でのボランティア

民族料理関係者、絵本朗読者、ブレイリーダー、ホームページ作成者、手話通訳など障害者対応者

募集期間 平成10年6月15日まで

くわしくはアジアこどもフェスティバル実行委員会事務局(県庁生活文化総務課内)

☎(0734) 41-3980、41-2052へ



県植物公園緑花センター ☎(0736)62-4029

春ラン展 3月14～15日
県立博物館 ☎(0734)36-8670
特別公開
官省符庄百姓等片仮名書申状案 3月1～29日
さのくに志学館 ☎(0734)36-9530
ミニコンサート～ヴァイオリンは春風にのって～
日時 3月15日 午後2時～
場所 メディア・アート・ホール
入場料 大人500円、高校生以下200円
(入場予約券が必要です)

県民文化会館 ☎(0734)36-1331

けんぶん名作シネマシアター
松本幸四郎主演「良寛」
日時 3月27日 午後7時～
ウィーン少年合唱団
日時 4月3日 午後6時30分～
劇団四季「夢から醒めた夢」
日時 4月13日 午後6時30分～

お気軽に入りぞ

交通事故相談
【常設相談】月～金曜日(東牟婁県事務所は水曜日を除く) 場所 県庁交通事故相談所、東牟婁県事務所
【弁護士による相談】●県庁交通事故相談所 3月16日、4月6日 受付 午後1～2時 ●東牟婁県事務所 3月13日、4月3日 受付 午前9時～正午
【巡回相談】●伊都郡事務所 3月25日 ●西牟婁県事務所 4月8日 受付 午後3時まで
県民相談
【常設相談】月～金曜日 場所 県庁県民相談室、各県事務所
【弁護士による相談】3月27日、4月10日 場所 県庁県民相談室 受付 午前9～11時
【移動相談】●古座町市民文化センター 3月19日受付 午後1～3時
※くわしくは☎(0734) 41-2359(交通事故相談)、☎(0734) 41-2356(県民相談)へ

「わかやま魅力再発見」係へお送りください。
あなたのお気に入りの
「和歌山自慢」をお寄せください。

場所、風景、建物、特産物など何でも構いません。簡単な説明文と写真を添え
て、住所、氏名、年齢、電話番号を記入
し、〒640-8585 県庁広報広聴課
「わかやま魅力再発見」係へお送りください。

構いません。簡単な説明文と写真を添え
て、住所、氏名、年齢、電話番号を記入
し、〒640-8585 県庁広報広聴課
「わかやま魅力再発見」係へお送りください。

ウイング 広報誌「W-ing」第5号ができました

わかやま女性100人委員会の委員による
座談会ほか、県内各所で活躍する女性の
すがたを写真を中心にレポート。

県庁広報広聴課または県事務所地域行政室でお渡しします。郵送ご希望の方は、
住所、氏名を記入し、切手160円分を同封し、県庁広報広聴課へ



美里町の上段順弘さんからお寄せいた魅力をご案内します。
くわしくは県庁広報広聴課へ



魅力再発見
あわやま